

# KOSEN CAFÉ 2023

OPEN : FRI 17:30~18:30

高専カフェって？

福井高専の教員が、自身が研究する専門分野の話を地域の一般の方向けに分かりやすく、様々な形式でお話しするものです。  
授業では取り上げないような裏話も盛り込んで、楽しくお話しします。

日 時 : ① 10月6日(金) ② 11月17日(金)  
③ 12月8日(金) ④ 1月19日(金)  
17:30~18:30

※最新の情報はHPにてご確認ください。

※プライバシーに配慮の上、講座中の様子をカメラ等で撮影させていただきます。撮影したデータは校内に限り利用させていただきますのでご了承ください。

場 所 : 福井工業高等専門学校  
コミュニティルーム

対象者 : 地域の中학생・社会人の方  
定 員 : 20~30名程度  
参加費 : 無料

《お問い合わせ先》

福井工業高等専門学校 地域連携テクノセンター  
〒916-8507 福井県鯖江市下司町

Tel : 0778-62-8296

Fax : 0778-62-2597

メールアドレス : [techno@fukui-nct.ac.jp](mailto:techno@fukui-nct.ac.jp)

# =CAFÉ MENU=

2023年10月6日(金)

## 『言葉の意味について哲学する』

中谷内 悠 教員

---

猫がごはんを要求しているときの「ニャー」を飼い主なら聞き分けることができます。しかし、人との会話と比べると、猫の言葉が意味することをそれほど正確に理解できるわけではありません。では、それはなぜでしょうか。人間の場合であれば、言葉を理解するのは容易ですが、その言葉の意味というのは、そもそもどのように決まってくるものなのでしょうか。哲学では私たちにとって馴染みのあるもののうちから生じてくる謎について考えます。そして今回は言葉とその意味について哲学的に考えたいと思います。

2023年11月17日(金)

## 『筒井康隆の戦争文学の世界』

松山 哲士 教員

---

「時をかける少女」や七瀬三部作などを代表作に持つ、日本SFの第一人者である筒井康隆は、1960年代に戦争をテーマとする作品を多数発表しました。これらの作品は、作家の実体験による従来の戦争文学とは一線を画し、現実には起こり得ない虚構の戦争文学でした。筒井はSFという表現方法を用いて、どのように戦争を描いたのでしょうか。本講座では、筒井の戦争観や当時の時代状況を鑑みながら、諸作品の文学的主題を紐解きます。

2023年12月8日(金)

## 『みんなで考える地域防災 —液状化とは?—』

芹川 由布子 教員

---

倒壊した家屋や土砂で堰き止められた道路。このような甚大な被害によって住む場所を失うということはイメージできると思いますが、液状化現象という被害でも、これまで通りの生活ができなくなります。液状化によって傾斜した家屋、マンホールが浮上し通行不可になった道路...目に見えた悲惨な状況の他にも、住む場所を失う被害が多くあります。地震防災や災害関連死の事例を紹介しつつ、発災時に身を守るにはどうすれば良いかを皆さんで考える機会にできたらと思っています。

2024年1月19日(金)

## 『電波・放送・通信技術の変遷』

濱住 啓之 教員

---

今から約130年前、ヘルツの火花放電に始まった電波技術は、ラジオ、アナログテレビ、デジタルテレビと大きく進化しました。また、約40年前に第1世代と呼ばれるアナログ携帯電話が出現して以来10年毎に大きく進化し、今では自動運転やメタバースなどの新たなメディアをめざした第6世代移動通信システムの研究開発が進められています。電波・放送・通信技術の変遷について私の無線技術者40年の経験と併せてお話ししたいと思います。